

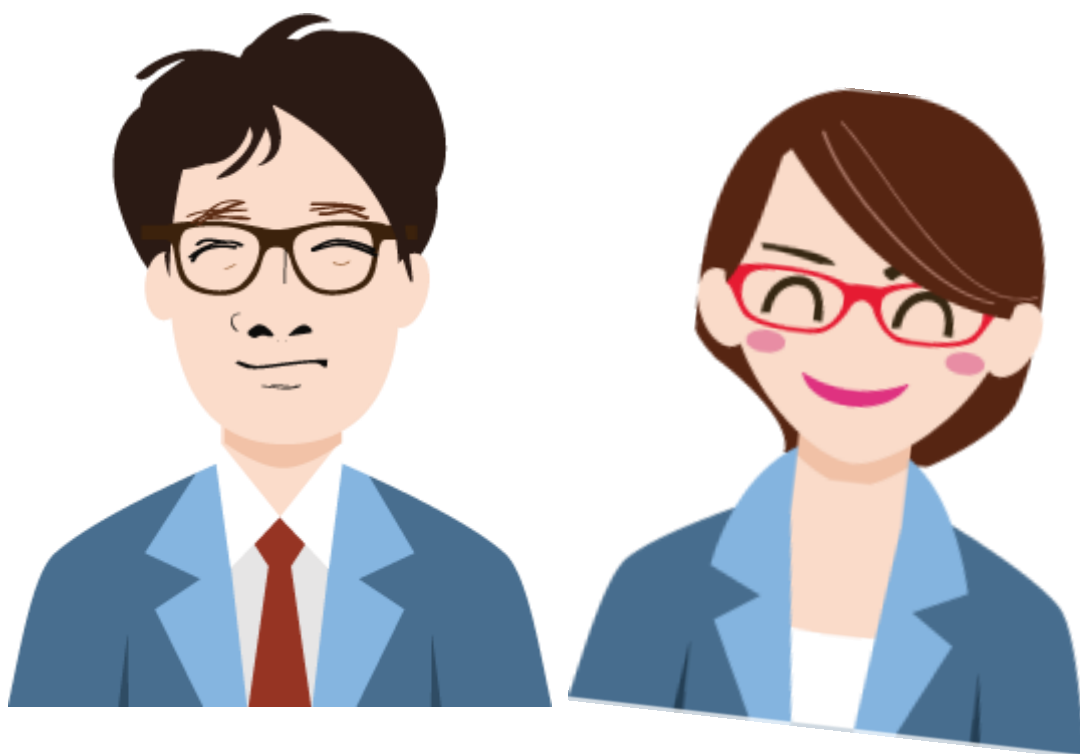
ベテラン講師とフレッシュ講師の！

<日商簿記 3 級>

フリーテキスト講座

～資本金 (決算) とその他の収益・費用～

全 5 枚



Syachou

&

Morisato

弥生カレッジ GMC フリーテキスト講座 (無料動画で公開中)

～資本金(決算) とその他の収益・費用～

学習も後半に差し掛かりましたね！学習は順調でしょうか？
ここでは、初めて登場する【純資産】のグループの勘定科目について学習します！



◆資本金(決算)

資本金…お店や会社を開業するときにかかる開業資金・運転資金のこと。個人事業の場合、店主個人の預金などから出資する。簿記の勘定科目では「資本金」もしくは「引出金」で処理をする。

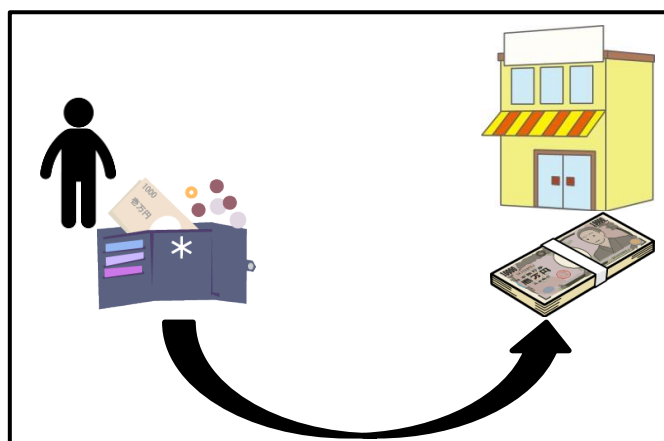
～資本を元入れしたとき～

【例】お店の開業にあたり、店主が現金 800,000 円を資本金として元入れした。

・店主自身のお財布(預金)からお店の金庫にお金が入るイメージです。

=お店の現金が増える。…元入れ

現金 800,000/資本金 800,000



～資本を引き出したとき～

【例】6/1 店主個人の所得税 20,000 円を店の現金で支払った。

資本金 20,000/現金 20,000

☆「引出金」勘定での処理

→資本の引き出しが頻繁に行われる場合には、「資本金」の代わりとして「引出金」という資本金のマイナスを表す勘定で処理をする場合もあります。

この勘定科目を使用することで資本金との区別がついて「いつ、いくら引き出しているのか？」ということが、管理しやすくなります。

【例】6/1 店主個人の所得税 20,000 円を店の現金で支払った。引出金勘定で処理をすること。

引出金 20,000/現金 20,000

～店の商品を私用で使ったとき～

【例】8/1 店主が店の商品 6,000 円を私用で使った。

資本金(引出金) 6,000/仕入 6,000

※仕入れた商品を使ったので、「仕入」の減少として処理をします。

◎決算手続き

「引出金」は、あくまでも資本金のマイナスを表す勘定なので、引出金勘定を使用して処理を行っていた場合は、決算手続きの際資本金勘定に振り替えなければいけません。



～引出金の整理を行うとき～

【例】12/31 決算において、引出金 26,000 円を資本金勘定に振り替える。

資本金 26,000/引出金 26,000

引出金勘定を使用していなければ、決算手続きは何もしなくてよいです。

◆その他の収益

簿記上での収益の勘定科目は、これまでできた以外にもあります。3級で登場するその他の勘定科目を参考までにのせておきます。

- ・受取手数料…手数料の受取額
- ・受取地代・受取家賃…土地や建物を貸したときの収入、受取額

など

◆その他の費用

簿記上での費用の勘定科目は、これまでできた以外にもあります。3級で登場するその他の勘定科目を参考までにのせておきます。

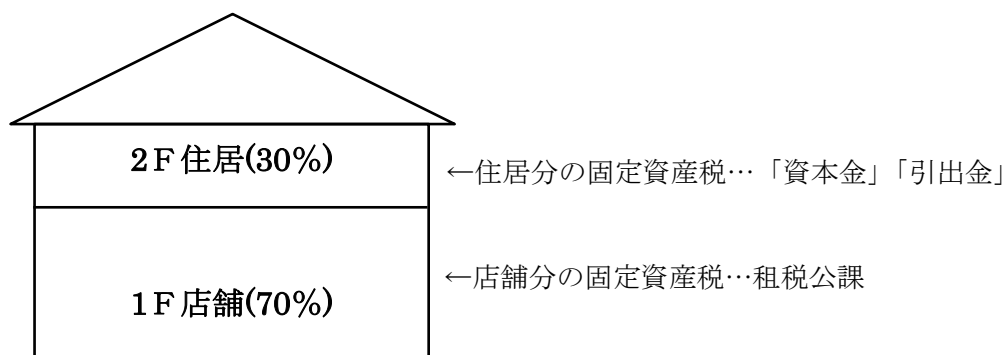
- ・広告宣伝費…ポスターやチラシなど、広告に関する支出
- ・支払地代・支払家賃…土地や建物を借りることによってかかる支出

※**租税公課**…印紙代、店舗の固定資産税、店舗用の車の自動車税など

→租税公課は、あくまでも営業活動に関するものにかかる税金を処理する科目です。

では、下記の例の場合はどうのように処理をするのでしょうか？

【例】店舗兼住居用の建物に係る固定資産税 160,000 円を現金で納付した。なお、固定資産税のうち、30%は店主個人の住居部分に対するものである。



$$160,000 \text{ 円} \times 30\% = 48,000 \text{ 円}$$

資本金(引出金)	48,000	現金	160,000
租税公課	112,000		

固定資産税以外にも、水道光熱費や通信費なども店主個人の使用分と店舗での使用分をわけることもありますよ！



◆訂正仕訳

訂正仕訳…誤った仕訳を正しいものにするために、誤った仕訳と正しい仕訳を合算した仕訳のことです。

～訂正仕訳をしたとき～

【例】買掛金 6,000 円を現金で支払っていたが、借方を「仕入」と記入していた。

[誤り]	―― 仕入――	6,000/	―― 現金――	6,000――	} ※本試験では、計算用紙上で考える。 答案用紙には、書かない。
[逆仕訳]	―― 現金――	6,000/	仕入	6,000	
[正しい仕訳]	買掛金	6,000/	現金	6,000	

[訂正仕訳] **買掛金 6,000/ 仕入 6,000** ←これが答えになります。

【例】通信費 4,000 円を現金で支払っていたが、金額を 5,000 円と、貸方科目を当座預金と記入していた。

[誤り]	通信費	5,000/	当座預金	5,000
[逆仕訳]	当座預金	5,000/	通信費	5,000
[正しい仕訳]	通信費	4,000/	現金	4,000

※本試験では、計算用紙上で考える。
 答案用紙には、書かない。

[訂正仕訳]	当座預金	5,000	通信費	1,000
			現金	4,000

←これが答えになります。

【例】通信費 4,000 円を現金で支払っていたが、貸借を逆に記入していた。

[誤り]	現金	4,000/	通信費	4,000
[逆仕訳]	通信費	4,000/	現金	4,000
[正しい仕訳]	通信費	4,000/	現金	4,000

※本試験では、計算用紙上で考える。
 答案用紙には、書かない。

[訂正仕訳]	通信費	8,000	現金	8,000
--------	------------	--------------	-----------	--------------

←これが答えになります。

過去問チャレンジ！ ※直近の過去問のみ載せています

- 資本金・引出金…133 回第 1 問-③ 135 回第 1 問-④ 136 回第 1 問-① 139 回第 1 問-④
 租税公課…133 回第 1 問-③ 135 回第 1 問-④ 137 回第 1 問-② 139 回第 1 問-④
 訂正仕訳…134 回第 1 問-⑤